

■殺虫剤：農業用

ネオニコチノイド系

ベストガード®水溶剤

登録番号：19102

毒性：－

消防法：－

有効年限：4年

成分 ニテンピラム……10.0%

物理的・化学的性状 青緑色水溶性細粒

包装：500g×20

◆特長

- ネオニコチノイド系殺虫剤で、速効性・浸透移行性に優れます。
- 顆粒状の製剤で粉立ちが少なく、作物に汚れが付きにくい薬剤です。
- コンパクトな軽量ボトル入りで、使用後は紙ラベルをはがすと容易につぶれ、小さくたたむことができます。

◆適用と使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ニテンピラムを含む農薬の総使用回数
稲	－	ウンカ類	2,000～4,000倍	60～150ℓ / 10a		4回以内	散布	4回以内
		ツマグロヨコバイ	4,000倍					
		カメムシ類	2,000倍					
ももりんご		アブラムシ類	1,000～2,000倍	200～700ℓ / 10a	収穫14日前まで	3回以内		3回以内
なし		アブラムシ類						
		チュウゴクナシキジラミ						
		カメムシ類						
ぶどう		アザミウマ類			収穫30日前まで			
		コナカイガラムシ類						
かき		アザミウマ類	1,000倍	収穫7日前まで				
かんきつ		アザミウマ類	1,000～2,000倍					
		アブラムシ類	2,000倍					
マンゴー		チャノキイロアザミウマ	1,000倍	2回以内	2回以内			
ばれいしょ		アブラムシ類	1,000～2,000倍	100～300ℓ / 10a	収穫14日前まで	4回以内		4回以内
かんしょ		コナジラミ類	1,000倍		育苗期	3回以内		
	メロンすいか	コナジラミ類	1,000～2,000倍		収穫7日前まで	3回以内	4回以内 (育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ニテンピラムを 含む農薬の 総使用回数
きゅうり	—	コナジラミ類 アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1,000～ 2,000倍	100～300ℓ / 10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、 水溶剤の散布は 3回以内)
カリフラワー ブロッコリー		アブラムシ類 アザミウマ類	2,000倍					5回以内 (育苗期の散 布は1回以 内、定植時の 土壌混和は 1回以内、水 溶剤の散布 は3回以内)
とうがらし類		コナジラミ類	1,000倍					4回以内 (育苗期の株元処 理及び定植時の 土壌混和は合計 1回以内、散布 は3回以内)
ピーマン		アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	1,000～ 2,000倍					4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、株 元散布及び水溶剤 の散布は合計3回 以内)
なす		コナジラミ類 アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ						4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、
トマト ミニトマト		アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類						4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、 水溶剤の散布は 3回以内)
いちご		アブラムシ類 チビクロバネキノコバエ コナジラミ類	2,000倍		4回以内 (定植時の土壌混 和は1回以内、 散布は3回以内)			
レタス		アブラムシ類			4回以内 (定植時までの処 理は1回以内、 水溶剤の散布は 3回以内)			

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	ニテンピラムを 含む農薬の 総使用回数			
だいこん	—	アブラムシ類	1,000～ 2,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫7日 前まで	3回 以内	散布	3回以内			
モロヘイヤ		コナジラミ類	2,000倍		収穫前日 まで						
アスパラガス			ネギアザミウマ ネギハモグリバエ						1,000倍		
ねぎ		クロバネキノコバエ類			2,000倍						
たまねぎ		ネギアザミウマ	1,000倍		2回 以内	2回以内					
せり	水田	アブラムシ類	2,000倍	200～400ℓ / 10 a	収穫14日 前まで	3回 以内	3回以内				
せり (水耕栽培)	ガラス室等 の施設										
食用べにばな (花)	—	ナモグリバエ	1,000倍	200～400ℓ / 10 a	収穫7日 前まで	2回 以内	2回以内				
食用ぎく		コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ									
		アブラムシ類						1,000～ 2,000倍			
茶	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ	2,000倍	200～400ℓ / 10 a	摘採7日 前まで	2回 以内	2回以内					
花き類・ 観葉植物 (ポインセチア、 きく、ばら、 ゆりを除く)	—	コナジラミ類	1,000倍	100～300ℓ / 10 a	発生初期	4回 以内	4回以内				
ポインセチア		アブラムシ類	2,000倍								
		きく	コナジラミ類 チビクロバネキノコバエ					1,000倍			
ばら			コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ					1,000倍			
		ゆり	アブラムシ類					1,000～ 2,000倍			
たばこ			コナジラミ類 ミカンキイロアザミウマ					1,000倍			
		たばこ	アブラムシ類					1,000～ 2,000倍			
たばこ			アブラムシ類					2,000倍	100～180ℓ / 10 a	収穫10日 前まで	1回

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

◆注意事項

- (1) ボルドー液などアルカリ性の強い薬剤との混用はさけること。
- (2) ぶどうに使用する場合は、袋かけ直前の散布では果粉が溶脱するおそれがあるので、使用をさけること。
- (3) せりに使用する場合は、水田以外での使用はさけること。
- (4) せり（水耕栽培）に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- (5) 蚕に対して影響があるので桑にかからないよう注意すること。かかった場合15日間は給桑しないこと。
- (6) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ③ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (7) 本剤はマルハナバチに影響があるので注意すること。
- (8) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- (9) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (10) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

◆安全使用上の注意

散布の際は農業用マスクなどを着用すること。
作業後はうがいをすること。

◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。